

平成10年 5月20日	植 防 情 報	発表	栃木県病害虫防除所
----------------	----------------	----	-----------

病害虫発生予察注意報第2号

作物名 : な し
病害虫名 : 黒 星 病

1 発生予想

発生量 多 い
発生地域 県内全域

2 根 拠

- (1) 5月上・中旬に実施した調査では、発生ほ場率が高い(下表)。
- (2) 一部には、葉及び果実ともに発生程度の高いほ場がある。
- (3) 5月上旬から発生が目立ち、発生時期が平年よりかなり早い。
- (4) 4月中・下旬から5月上旬にかけて気温が高く降水量も多く推移した。また、降雨は強い風を伴ったため、感染に適していた。
- (5) 向こう3か月の気象予報(5月20日発表)によると、6月の気温は平年並、降水量は多いと予測されるので、感染と発病が拡大するものと考えられる。

5月上・中旬における黒星病発生の推移(露地栽培)
(各ほ場任意の4樹、1樹10長果枝を調査)

	平成10年	平成9年	平成8年	平成7年	平成6年
発生ほ場率(%)	50.0	0	0	16.7	30.4

3 対 策

- (1) 罹病した葉や果実などは除去して園外に持ち出し処分する。
- (2) 現在、発生の見られない園や少ない園では、デランフロアブル、サニパー、キノンドーフロアブルなどを、系統を変えて5～7日ごとにローテーション散布して発生を予防する。
- (3) 発生の多い園では、アンビルフロアブル、スペックス水和剤などのE B I剤を散布し発生の拡大を阻止する。ただし、E B I剤は耐性菌防止のため、あわせて年2回以内の散布とする。

* * * * * * * * * * * *
詳しくは栃木県病害虫防除所にお問い合わせ下さい。
T E L 0 2 8 - 6 6 5 - 5 6 4 5
* * * * * * * * * * * *